

ヨツボシカミキリ

Stenygrium quadrinotatum Bates

コウチュウ目カミキリムシ科

石川県カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類

選定理由

県内における最近の記録がきわめて少なくなった。この傾向は、全国的なようである。

形態

体長は8～14mm。体色は暗赤色で、上翅にはやや大きめの黄白色の円紋を2対有する。脚の各腿節は肥大する。オスの触角の長さは体長を越える。

国内分布

北海道（南部）、本州、飛鳥、佐渡島、隠岐島、淡路島、四国、九州、対馬、奄岐島、屋久島、伊豆新島、奄美大島、徳之島。

県内分布

小松市原沢林道、金沢市（寺町、諸江、若松、菱池、医王山）、穴水町大町。

生態

平地～低山帯で見られ、成虫は6～8月頃に出現し、クリの花や灯火に飛来する。幼虫はブナ科の枯れ枝を食するという。

生息地の条件

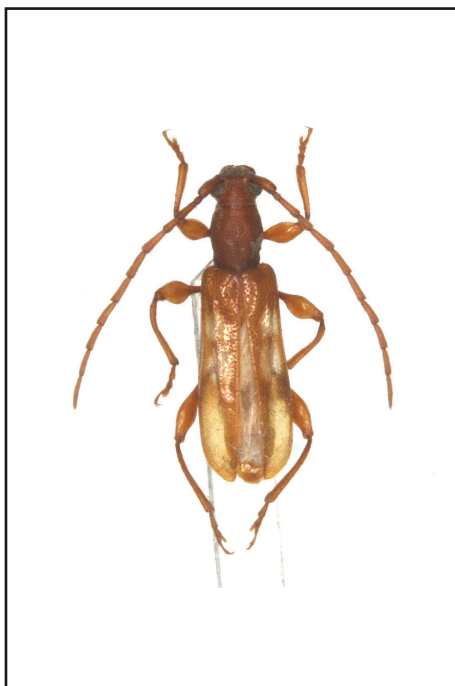
平地～低山帯において、ブナ科を含む雑木林が存在すること。

生存の危機

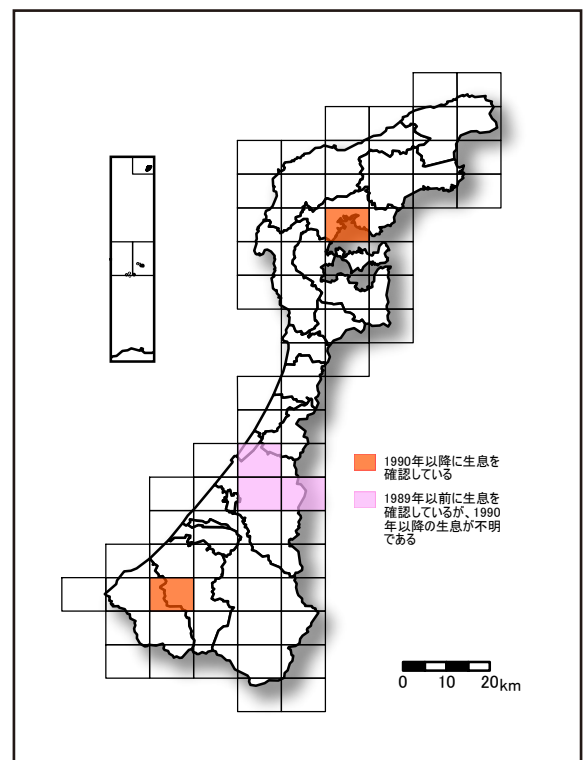
開発等的人為的影響を受けやすい所が生息地であるため、減少しやすい。しかし、全国的に普通種であった本種が激減したのは、他に要因があるのかもしれない。(A)

参考文献

井村正行 1998. コウチュウ目カミキリムシ科. 石川県の昆虫: 197-217. 石川県自然保護課.



標本提供者: 入場登



県内の分布